



# エコアクション21 環境活動レポート

---

実施期間 令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

令和7年4月1日

---





## 環境経営方針

私たち日建建設株式会社は、数多くの建設事業をお客様の信頼とともに拡げてきました。社会の高齢化、都市の温暖化、環境の保全といった課題にも果敢に取り組み、長年築き上げてきた技術と実績を基盤として、さらに一步進んだ商品開発や質の高いサービスの提供を目指すと共に環境経営の継続的改善に努めます。

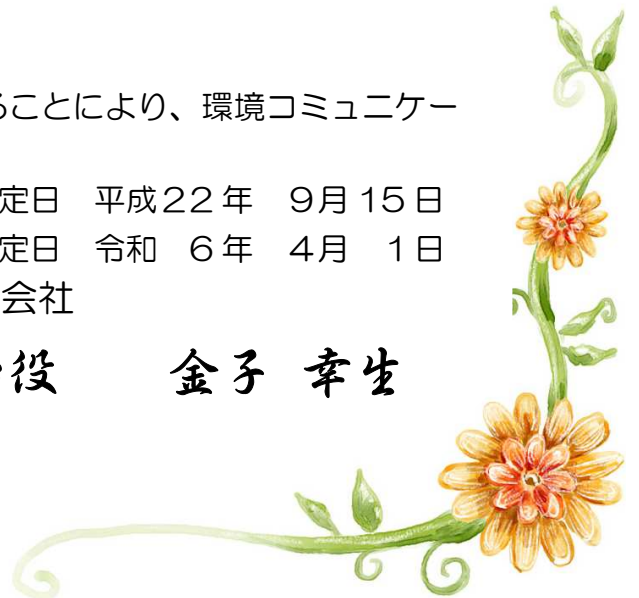
1. 当社の事業において環境への負荷を削減するために、以下の取組を行う。
  - (1) 車輛、重機、機械類のエコ運転に努め、燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (2) 事業所で使用する電気の省エネルギー化を推進し、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (3) 全社員の節水に対する意識を高め、節水コマ等により水使用量を削減する。
  - (4) 建設廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進することにより、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
  - (5) 建設工事における周辺環境に配慮する。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. 環境活動レポートを作成して公表することにより、環境コミュニケーションを推進する。

制定日 平成22年 9月 15日

改定日 令和 6年 4月 1日

日建建設株式会社

代表取締役 金子 幸生



## 1. 組織の概要

(1) 事業所名  
代表者氏名

日建建設株式会社  
代表取締役 金子 幸生

(2) 所在地

(本社) 〒810-0044 福岡市中央区六本松三丁目16番33号  
(資材倉庫) 〒810-0023 福岡市中央区警固2丁目17-8  
〒811-1223 那珂川市上梶原宇江ノ木 1008-47

(3) 環境管理責任者  
担当者連絡先

営業部 山下 雄輔(担当者兼務)  
連絡先 電話:092-731-2434 e-mail:yuusuke@nikken-co.jp

(4) 事業の内容

建築構造物、土木構造物の施工及び管理、宅地建物取引業  
1) 特定建設業 福岡県知事許可(特-4)第22182号 建築工事業ほか  
2) 一般建設業 福岡県知事許可(般-4)第22182号 土木工事業  
3) 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11017号  
4) 宅地建物取引業 福岡県知事(7) 第13275号

(5) 事業の規模

(2022年 4月~2023年 3月)	(2023年 4月~2024年 3月)	(2024年 4月~2025年 3月)
136	210	198
22	27	31
194,857	260,131	320,587
移転前 281.38 移転後 527.81	527.8	527.8
1,320	219	219

(6) 事業年度

4月~翌年3月

## 建築事例

■平成29年度公営住宅(大井住宅)新築工事  
福岡市博多区大井2丁目  
施主 : 福岡市長  
設計・監理: 福岡市住宅都市局住宅部住宅建設課  
工期 : H.30.3.6~R.1.7.28  
構造・階数: RC造(地上8階)  
用途 : 市営住宅  
敷地面積 : 2,286.49㎡  
建築面積 : 460.52㎡



■(仮称)サンクス博多駅南新築工事  
福岡市博多区博多駅南3-8-14  
施主 : TH&mnks 株式会社  
設計・監理: 株式会社傳設計  
工期 : H.29.10.5~H.31.1.31  
構造・階数: RC造(地上12階)  
用途 : 共同住宅 42戸  
敷地面積 : 424.27㎡  
建築面積 : 231.24㎡  
延床面積 : 1,841.12㎡



#### 4. 環境経営目標

	環境目標	単位	基準値	令和6年度	次期目標 (令和7年度)	中期目標 (令和10年度)
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /百万円 (基準年比)	10.136 (R2~R5年度実績の平均)	10.116以下 (-0.2%)	10.095以下 (-0.4%)	10.035以下 (-1.0%)
2	施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)	m <sup>3</sup> /百万円 (基準年比)	0.762 (R2~R5年度実績の平均)	0.760以下 (-0.2%)	0.759以下 (-0.4%)	0.754以下 (-1.0%)
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率85%以上を維持する)	%	85.0	85.0以上	85.0以上	85.0以上
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力+車輛の燃料 (令和5年度実績を維持する)	kg-CO <sub>2</sub>	44,798 (R5年度実績)	44,798以下	44,798以下	44,798以下
5	本社の廃棄物排出量の削減 (事業所一般廃棄物)	---	排出量の削減に努める			
6	本社の水使用量の削減 (本社+倉庫) (令和6年度実績を維持する)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	年間データ集計中の為 目標再設定予定			
7	建設工事における周辺環境配慮	---	近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する			

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.402 kg-CO<sub>2</sub>/kWh(令和5年度九州電力)を使用しました。

## 5. 環境経営計画

### (1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

#### 1. 施工現場の二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電気使用量削減 (施工現場)	井上	1 間引き照明の実施、LED照明の採用	作業所長	←	→	←	→
		2 使用頻度の低い箇所の照明OFF		←			→
		3 パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←			→
2 重機・機械類の環境配慮 (協力会社へ依頼)	井上	1 エコドライブの励行	作業所長	←			→
		2 環境配慮車両の使用依頼		←			→

### (2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

#### 2. 施工現場の水使用量の削減

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 現場事務所での節水	井上	1 節水活動の推進	作業所長	←			→
2 施工現場での節水	井上	2 協力会社への依頼	作業所長	←			→

### (3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率85%以上を維持する)

#### 3. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 リサイクル率85.0%を維持する	井上	1 現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	作業所長	←			→
		2 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に 行い、責任者に報告する		←			→
		3 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイ クルについて確認する		←			→

### (4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(令和5年度実績を維持する)

#### 4. 本社の二酸化炭素排出量の削減(事業所電力+車輛の燃料)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電気使用量削減 (令和5年度実績を維持する)	江口	1 パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←			→
		2 エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←	→	←	→
		3 エアコンフィルターの清掃	松ケ下	*		*	
		4 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←			→
2 ガソリン使用量前年度削減 (令和5年度実績を維持する)	松本	1 車の空調温度を適正に設定する	山下	←			→
		2 社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←			→

### (5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

#### 5. 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出 量の削減	井上貴	1 会議などの開催案内はメールとする	稲尾	←			→
		2 事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←			→
		3 パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←			→
		4 分別の徹底	井上貴	←			→

(6) 本社の水使用量の削減(本社+倉庫)(令和6年度実績を維持する)

6. 本社の水使用量の削減(本社+倉庫)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 本社での節水	江口	1 出しっぱなし等の注意	桑原	←			→
2 倉庫での節水	井上貴	2 節水活動の推進	井上貴	←			→

(7) 建設工事における周辺環境配慮(近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する)

7. 建設工事における周辺環境配慮

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 重機等を使用した騒音の可能性が ある作業をする際は、周辺に配慮 した取組を行う	井上	1 騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒 音に対する意識付けを強化する	井上	←			→
2 騒音対策以外に、近隣住民に配 慮した取組を実施する	井上	2 近隣に配慮した取組を各現場ごとに工夫して行う	井上	←			→

## 6. 環境経営目標の評価

	環境目標	単位	令和6年度	令和6年度実績	達成状況
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	10.116 以下 (-0.2%)	12.25 電力・灯油使用による 52,912kg-CO <sub>2</sub>	×
2	施工現場水使用量の削減 (売上高百万円当たり)	m <sup>3</sup> /百万円	0.760 以下 (-0.2%)	0.77	△
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上 (リサイクル率 85%以上を維持する) ※建設混合廃棄物は除外	%	85.0 以上	100	○
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力+車輛の燃料 (平成 29 年度実績を維持する)	kg-CO <sub>2</sub>	44,798 以下	53,010	×
5	本社の廃棄物排出量の削減 (事業所一般廃棄物)	t	排出量の削減に 努める	1.7	○
6	本社の水使用量の削減 (本社+倉庫) (令和6年度実績を維持する)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	データ集計中	-	-
7	建設工事における周辺環境配慮	---	近隣住民の生活 に配慮した取り組 みを実施する	実施できた	○
項目評価		<p>前回達成であった施工現場の二酸化炭素の排出量は、達成出来なかった。本社の二酸化炭素の排出量も、本年も酷暑でエアコンの稼働時間が多かったことも原因となり、増加してしまった。</p> <p>引き続き削減出来るように努力していく。</p>			

CO<sub>2</sub>総排出量 105,923 kg-CO<sub>2</sub>

※売上高の算出は、電力および水の使用があった現場のみを対象としています。

①施工現場の二酸化炭素の排出量計算対象売上高 … 4,319 百万円

②施工現場の水使用量計算対象売上高 … 4,319 百万円

## 7. 環境経営計画の取組結果と評価

### (1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減 (施工現場)	間引き照明の実施, LED 照明の採用 使用頻度の低い箇所の照明 OFF パソコン、コピー機の不使用時電源 OFF	○ ○ ○	意識的に取り組んだ 実施できている 実施できている
協力会社への依頼	エコドライブの励行 ハイブリッド車の積極導入	○ ○	実施できている 契約時に協力業者へ依頼
項目評価	目標未達となったが、協力業者に節電の声掛けの実施や、消費電力の少ない照明等の使用など、節電に対する意識付けが浸透しており、意欲的に活動が出来ていた。		

### (2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

目標	活動項目	実施状況	評価
現場事務所での節水	節水活動の推進	○	実施できている
施工現場での節水	協力会社への依頼	○	実施できている
項目評価	目標達成まであと少しであった。 今一度、目標達成に向けて社内教育を行っていく。		

### (3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)

目標	活動項目	実施状況	評価
リサイクル率の向上	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を 確実に行い、責任者に報告する 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及び リサイクルについて確認する	○ ○ ○	目標達成 諸官庁に報告済 処理施設確認済
項目評価	計測の仕方を変え本格的に取り組み始めたが、昨年度に引き続き高い数値で目標達成となった。来年度以降も高い水準で数値を達成していきたい。		

(4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(令和5年度実績を維持する)

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減 (事業所)	パソコンとコピー機の節電機能を活用する エアコン設定温度を適正に設定する エアコンフィルターの清掃 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	○ × △ ○	継続して実施できている 熱中症対策で温度を保てなかった 会社の定期清掃で実施 意識できている
ガソリン使用量の削減	車の空調温度を適正に設定する 社用車の効率的な使用を徹底する	○ ○	全体会議や社内掲示物で周知 全体会議や社内掲示物で周知
項目評価	第1期は目標達成出来ていたが、その後は未達となり、全体として目標未達となった。照明の不使用時の消灯や節電機能の活用といった活動は、積極的に実施出来ていたが、夏場の気温上昇や冬場の強い寒気の影響もあり、エアコンの使用頻度の増加や適正な設定温度での使用が難しかったこと原因として考えられる。		

(5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

目標	活動項目	実施状況	評価
可燃ごみ、不燃ごみの排出量の削減	会議などの開催案内はメールとする 事業報告書等は適正部数印刷する パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施 分別の徹底	○ ○ △ ○	一斉配布を行っている 裏紙も積極的に印刷出来ている 完璧とは言えないが、着実に知識がついてきている シールを貼り直し分別を促進した
項目評価	前年に実施し良かった箇所はそのまま継続できている。 紙も適量印刷し、ミスプリントを捨てず裏紙として積極的に利用している。 パソコンに関しては、既存の社員は安定してきたので、新入社員の入社研修時に時間をしっかりとって教育するようにしている。ゴミ箱の分別シールがはがれかけていたので、再度作成し、貼りなおしている。		

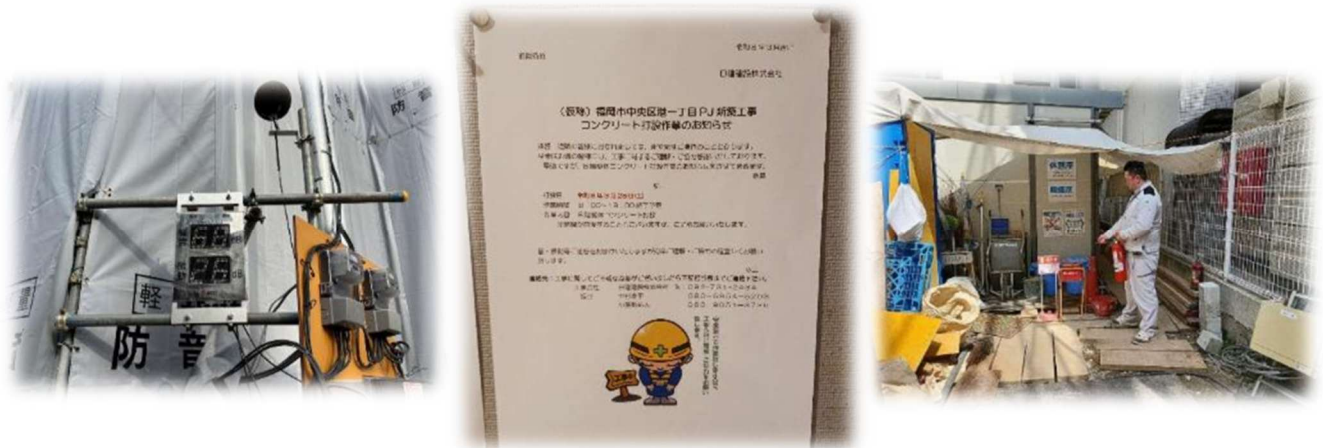
(6) 本社の水使用量の削減(本社+倉庫)※令和6年度実績を維持する

目標	活動項目	実施状況	評価
現場事務所での節水	出しっぱなし等の注意 節水活動の推進	○ ○	実施できている 全体会議や掲示物で周知
項目評価	使用量については集計中であるが、環境活動については、全体会議や掲示物にて社内周知を行い、社員全員の節水に対する意識を高め、日々の業務に取り組むことが出来た。		

(7) 建設工事における周辺環境配慮

目標	活動項目	実施状況	評価
重機等を使用した騒音の可能性のある作業をする際は、周辺に配慮した取組を行う	騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒音に対する意識付けを強化する	○	騒音測定器を設置し、周辺住民の方に配慮をした。
騒音対策以外に、近隣住民に配慮した取組を実施する	近隣に配慮した取組を現場毎に工夫して行う	○	消火器での訓練や、イラスト付きで工事予定を掲示できている。
項目評価	騒音機を設置することにより、今どれくらいの音が出ているかを可視化することができた。また、消火器を使い出火しやすい箇所で訓練を行う等、現場毎にそれぞれ違う着眼点で、周辺住民への配慮が出来たと考える。		

実際の活動の一環



## 8. 次年度の環境経営計画

### (1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

#### 1. 施工現場の二酸化炭素排出量の削減

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電気使用量削減 (施工現場)	井上	1 間引き照明の実施, LED照明の採用	作業所長	←	→	←	→
		2 使用頻度の低い箇所の照明OFF		←			→
		3 パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←			→
2 重機・機械類の環境配慮 (協力会社へ依頼)	井上	1 エコドライブの励行	作業所長	←			→
		2 環境配慮車両の使用依頼		←			→

### (2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

#### 2. 施工現場の水使用量の削減

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 現場事務所での節水	井上	1 節水活動の推進	作業所長	←			→
2 施工現場での節水	井上	2 協力会社への依頼	作業所長	←			→

### (3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)

#### 3. 産業廃棄物のリサイクル率の向上

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 リサイクル率85.0%を維持する	井上	1 現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	作業所長	←			→
		2 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に 行い、責任者に報告する		←			→
		3 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイク ルについて確認する		←			→

### (4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(平成 29 年度実績を維持する)

#### 4. 本社の二酸化炭素排出量の削減(事業所電力+車輛の燃料)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電気使用量削減 (令和5年度実績を維持する)	江口	1 パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←			→
		2 エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←	→	←	→
		3 エアコンフィルターの清掃	松ヶ下	*		*	
		4 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←			→
2 ガソリン使用量前年度削減 (令和5年度実績を維持する)	松本	1 車の空調温度を適正に設定する	山下	←			→
		2 社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←			→

### (5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

#### 5. 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量 の削減	井上貴	1 会議などの開催案内はメールとする	稲尾	←			→
		2 事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←			→
		3 パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←			→
		4 分別の徹底	井上貴	←			→

## (6) 本社の水使用量の削減(本社+倉庫)※令和6年度実績を維持する

### 6. 本社の水使用量の削減(本社+倉庫)

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 本社での節水	江口	1 出しっぱなし等の注意	桑原	←			→
2 倉庫での節水	井上貴	2 節水活動の推進	井上貴	←			→

## (7) 建設工事における周辺環境配慮(近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する)

### 7. 建設工事における周辺環境配慮

取組目標	取組目標 責任者	活動項目	活動項目 担当者	スケジュール			
				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 重機等を使用した騒音の可能性が ある作業をする際は、周辺に配慮 した取組を行う	井上	1 騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒 音に対する意識付けを強化する	井上	←			→
2 騒音対策以外に、近隣住民に配 慮した取組を実施する	井上	2 近隣に配慮した取組を各現場ごとに工夫して行う	井上	←			→

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(汚泥、木くず等)
建設リサイクル法	対象工事の届出、解体工事業の登録・更新
騒音規制法	くい打ち機

上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営目標の達成状況については、一部達成に至らなかった項目もあるが、社員数の増加に伴う業務量の変化や、夏の酷暑の影響もあり、やむを得ない側面もあったと考えます。特に猛暑下においては社員の体調面への配慮を優先する必要があると、結果として目標未達となった部分も見受けられました。今後は新たに得られたデータの分析を進めるとともに、削減に向けた取り組みを継続し、全社員一丸となって目標達成に努めてまいります。

以上